

問い合わせ 指導室(内666)

平成14年度からの完全学校週5日制実施に伴い、新学習指導要領への移行が今年度よりスタートしました。こうした状況を踏まえ、海老名市教育委員会(以下=教育委員会)では21世紀の教育理念を「ひびきあう教育」と定め、取り組みを開始しました。今回は、その概要をお知らせします。

21世紀えびなの教育理念

ひびきあう教育～場の創造～

催し物案内

◆第19回海老名市交通・防犯市民のつどい◆

交通事故と犯罪をなくし、明るく住みよい地域社会を目指して開催します。この「つどい」は、市民のみならず関係機関・団体が一体となって、交通安全と防犯意識の向上を図るためのもので、入場は無料です。



©NHK・尼子騒兵衛 総合ビジョン

◆ケナフフォーラム開催◆ ～講演・紙づくり～

森林保護、地球温暖化の防止などで木材資源に代わる、新しい非木材紙資源として最近注目されている「ケナフ」をみなさんに知ってもらうため「ケナフフォーラム(講演・紙づくり)」を開催します。

日時 10月14日(土) 午前11時から 会場 J.A海老名市グリーンセンター2階集会研修室(大谷246番地) 内容 ①講演(午前11時～正午) 釜野徳明氏(神奈川大学教授) ②紙づくり(午後0時30分～4時) 申し込み・問い合わせ 電話で環境保全課(内532)へ。※申し込み多数の場合は抽選。

◆消費生活専門講座◆ ～よくわかる収納～

ライフスタイルが多様化している現在、家の中の整理整頓は、たいへんなどころがあります。消費生活専門講座では、昨年引き続きリビングジャーナリストの伊勢谷美以子さんに、収納法や快適な暮らしのヒントをお話いただきます。

日時 10月24日(火) 午前10時～正午 会場 保健相談センター2階研修室(1) 定員 50人 申し込み・問い合わせ 10月2日(月)～13日(金)に電話または直接(土・日・祝日除く) 商工課(内511)へ。※申し込み多数の場合は抽選(託児を希望の方は申し込み時に問い合わせください。2歳以上定員10人)。

◆中新田コミセン講座◆ ～中新田の歴史を歩く～

「中新田の歴史を歩く」をテーマに海源寺、大島記念公園など地域に残っている歴史的遺産を訪ね、郷土の歴史を通じて日本の歴史を探ります。

日時 10月28日(土) 午後2時～5時頃(小雨決行) 集合 中新田コミセン 講師 茂田孝氏 定員 30人(超えた場合抽選) その他 屋外での講座のため軽装で参加ください。主催 中新田コミセン 講座運営委員会・教育委員会 申し込み・問い合わせ 10月20日(金)までに電話で生涯学習課(内682)へ。

◆第17回市民歩け歩け大会◆

～東京の奥庭から神奈川の奥庭へとたどるネイチャーハイク～

歩くことを通じて、日常生活の健康の維持増進と参加者相互の親睦を図り、歩くことの楽しさを感じていただくため「市民歩け歩け大会」を開催します。

開催日 11月3日(祝)午前7時、市役所南側駐車場集合。雨天決行(コース変更の場合有り) コース 高尾山頂→高尾山頂付近→城山→相模湖 山頂をめざすコースは、清涼感たっぷりの稲荷山コースを、展望のよい城山から相模湖までは、東海自然歩道を予定。全行程約6時間30分(昼食・休憩を含む) 対象 市内在住・在勤の方とその家族で小学生以上の健康な方 募集人員 100人(多数の場合は抽選) 交通 大型バス利用(市役所から現地への往復) 参加費 1人1000円(当日徴収) 申し込み 往復はがきに参加者全員の住所・氏名・年齢・電話番号を明記して、10月16日(月)必着で、〒243-0492教育委員会体育課へ。※はがき1枚につき3人までで、参加者の重複申し込みはできません(家族での申し込みの場合は、人数制限はありませんので全員の名前を記入) 問い合わせ 体育課(内677)。

◆有馬図書館定例映画会◆ ～小学生以上対象～

有馬図書館では、毎月第2土曜日に映画会を開催していますので、親子、友達同士でご参加ください。

日時 10月14日(土) 午前10時30分～11時5分 会場 有馬図書館多目的室 内容 「すばらしい私のおいちゃん」 対象 小学生以上 参加方法 直接会場へ 問い合わせ 同館(☎233・4646)。

◆中学校総合文化祭◆ ～演劇・音楽・美術～

芸術・文化の秋に、市内中学生による総合文化祭が開催されます。若さとエネルギーにあふれた音楽・ダンス・演劇や美術作品等を、ぜひ、ご覧ください。 演劇部門発表(ダンス・演劇) 10月7日(土) 午後0時30分～5時 音楽部門発表 10月8日(日) 午前9時50分～午後4時 会場 いずれも文化会館大ホール。 美術展 11月10日(金)～13日(月) 午前10時～午後5時(最終日は午後1時30分まで) 会場 市民ギャラリー 問い合わせ 指導室(内666)。

かわりをつむぐ 4つの視点

「ひびきあう教育」は、子どもたちが心豊かな人として育つことを願い、学校・家庭・地域社会がそれぞれの思いを「かわり」という行為を通して実践していく教育活動です。 「ひびきあう教育」の実践は、例えようならば、1枚の布を織り上げていく工程と似ています。1本の糸が練られ、染められ、織りにかけられ、さらにこれ織り手・作り手の心が織り込まれていく。その工程を一つひとつ言葉に託しました。 さらに、「ひびきあう教育」の実践は、

①子どもと大人がひびきあう

教育の役割の一つに、生き方を伝える営みがあります。子どもは、そこに暮らす大人たちをまねることから生き方を学びます。少子化・核家族化が進む中、まねる大人の存在も、大人のかかわりも希薄になっています。その結果、社会性や規範性の芽が育っていない子どもが増えています。 今回の教育改革のねらいの一つに「基礎・基本の充実」があります。学習における「基礎・基本」だけでなく、人としての「基礎・基本」を子どもたちに育むことが求められています。 そのために、大事なのは、一つには学校生活・日常生活の中で「かわり」がもてることです。休み時間の子ども同士の話、また教師とのつながり、さらには地域の行事を通しての大人たちとのつながりなどです。しかし現実にはそうした場や環境が十分生かされていません。

②子どもと教師がひびきあう

今回の教育改革では、子どもが自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考える主体的な力を育てることが大きなねらいになっています。そのため学校では、指導方法の改善、学習方法の多様化が求められています。そのために、 ①子どもたちの学習活動の中に、人やものや自然のかかわりももてる活動を取り入れること。 ②そうした活動で得た知識や情報を、相互に交換し合う場を積極的に取り入れること。 ③自らの考えを伝え、さらには新たな課題を、仲間と共有する場を創ること。 こうした具体的な活動を通して、学習の場で「子どもと教師がひびきあう」ことが考えられます。

③学校・家庭・地域社会がひびきあう

これからの学校は、地域の教育力をもとに、地域における文化と学びのセンターとしての役割を果たすことが求められています。その背景の一つには、高齢化社会の到来により、生涯学習社会の中で学校教育をとりまくという視点があります。 子どもが成長していく場は、家庭とあり、学校とあり、地域社会とあり、学校を「開く」ということを通じて、「家庭・地域社会とひびきあう」ことが求められます。そして「開かれた学校」とは、学校・家庭・地域社会とが支え合ひ、中で指導を工夫し、教育の質の向上に努めていくことです。そのためには、まず教師一人ひとりが学び合うことに努め、意識改革を図ることが肝要です。さらには、保護者や地域の方々にも積極的に学校教育にかかわることを呼びかけ、共に学び育ち合う関係を築いていくことが大切です。

④郷土とひびきあう

海老名で生活し、海老名で学んだことが「良かった」と言える子どもを育てたいと考えています。「海老名で学び、生活する中で生れてくる「かわり」、自らの言葉仲間を家族を地域を語り、もつと知った「かわり」、こんな「海老名」にしたいという願いが、自分の将来の夢につながり「生きる喜び」につなげたいと考えています。 そのためには、子どもたちが地域を理解し、子どもなりに地域に愛着を抱くことが、まずは大切なことといえます。そのためには学習活動に地域の教材を積極的に取り入れ、地域の施設や地域の方々の協力を得て地域を身近に感じることができるといえます。 ①教師自身が子どもの生活実態をつかみ、地域の学習素材をみつけ、発達段階に即し教材化していく。 ②地域の方々の知恵や技術を積極的に取り入れる。 ③できるだけ地域に出かけ体験的活動を取り入れる。 こうした取り組みを通して「郷土とひびきあう」教育の実践化を図ってきたいと考えています。

特色ある学校づくり推進校

今泉小学校



今泉小の給食用牛乳パックの回収

今泉小学校

市内の小・中学校で、校内研究・研修を活用して「学習」のある授業づくりに努めているなかで、一例として「特色ある学校づくり推進校」に、平成11年度から取り組んでいる今泉小学校と、海西中学校を紹介いたします。なお、海西中学校は、併せて「感性をほぐくむ」をテーマとして校内研究も行っています。

海西中学校

海西中学校では、「地域に根ざし、地域と共に生きる学校づくり」を掲げ、地域に生かされ、地域を生かす学校づくりに努めています。この研究主題に掲げられている活動は、

めぐる海老名の教育 学校・家庭・地域社会が互いに協力を

教育委員会では、21世紀の教育理念を「ひびきあう教育」とイメージのひとは、描く学校から元気な子どもたちの声がひびき、保護者やボランティアの地域の方々の協力を得ることで、学級・学級活動の充実と相模川河川清掃への参加など、地域へのボランティア、奉仕活動の推進を図ることをねらいとして推進委員会を中心として生徒会、PTA組織を活用して生徒・保護者・地域の方々の巻き込んだ活動を考えられています。 具体的には、学期に1回学区大掃除を、10月と2月に学区クリーン週間を設け取り組んでいく予定です。 こうした体験的活動で、子どもたちが気づかせ、心を動かし、感性を育てたいと考えています。そこで、この体



海西中の相模川河川清掃

第7回家庭と地域の教育を考える会

子どもを健全に育てるには、家庭・地域・学校が互いに連携をとり、それぞれが十分にその役割を果たすことが必要です。この「つどい」は、PTA連絡協議会・青少年問題協議会・教育委員会の主催で、家庭や地域が抱えている課題を、みなさんともに考える機会として開催します。

当日は、地域の代表者、学校の代表者による意見発表のほか、「3年B組金八先生」の脚本家として著名な、小山内美江子氏を招いて、最近の子どもたちの状況に関する講演を行います。また、若年の健全育成に功績があった団体や、非行防止啓発ポスター入選者の表彰も行います。ぜひ、「参加ください。」 日時 10月21日(土) 午後1時30分～ 場所 市役所公民館5階 対象 市内在住・在勤者100人 申し込み 問い合わせ 10月18日までに電話で生涯学習課(内68)へ。※申し込み多数の場合抽選。

◎小山内美江子氏(写真)



横浜市出身 日本シナリオ作家協会理事、JHP・学校をつくる会代表 代表作にTBS「3年B組金八先生」、NHK大河ドラマ「徳川家康」翔ぶが如くなど、著作に「金八シリーズ」全18巻、「メロ」に輝け、桜小学校「つどい」からは「はぐろ」など。

Table with 2 columns: School/Facility and Activities. Includes items like 'School opening', 'Family and community cooperation', 'Children's play', 'School and family cooperation', and 'Local education activities'.